

令和4年度 町政懇談会

日時：令和 年 月 日

午後 時 分～

会場：

1. 開会

2. 挨拶 阿賀町長 神田 一秋

3. 懇談会

(1) 意見交換

4. 閉会

第2次 阿賀町総合計画 後期基本計画 概要

まちづくりの基本目標 ～基本構想の内容～



基本理念

～豊かな自然・かがやく文化・みんなで築く安心のまち～

- 「豊かな自然」とは …… 阿賀町の素晴らしい大地や山河を基盤に、
- 「かがやく文化」とは …… 地域の伝統や歴史を大切にしながら新しい文化を、
- 「みんなで作る」とは …… この地に暮らす人たちが一緒になって築きます。
- 「安心のまち」とは …… だれもが安心して暮らせるまちを目指して！



目標とする将来像

4つの将来像の実現に向け、総合的に施策を推進します。



自然と共生するまち（ゆとり・潤い）

天からの贈り物である恵まれた自然を守り、さらにその自然を生かした土地の利用や活動を工夫して、ゆとりと潤いのある生活を実感できるまちをつくります。



文化があふれるまち（希望・活気）

地域の歴史や伝統を生かしながら、教育・芸術文化・スポーツなどの活動を充実させ、人が夢と希望を持っていきいきと生活するまちをつくります。



活力ある産業のまち（連携・発展）

農林業・商工業・観光業の産業間連携を強め、地場資源を最大限に活用した地域性あふれる魅力的な産業の育成を図り、若者が夢と希望を持って働くことができる、発展性のある活力にあふれた産業のまちをつくります。



やすらぎのあるまち（安全・安心）

子どもからお年寄りまで、充実した保健医療や福祉サービスの恩恵を受けることのできる仕組みづくりと災害への備えを強化し、安全・安心のまちをつくります。

【重点施策】

◇子育て支援

妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的な支援により、未来の宝である子どもたちや保護者が安心して暮らせるまちづくりを進めます。 (*新規事業)

事業名	概要
子育て世代包括支援センター	母子保健事業・子育て支援事業・産後ケア事業・妊産婦へのヘルパー派遣事業など
*子ども家庭総合支援拠点	子ども家庭支援員を配置し、児童虐待予防や学齢期の不登校の相談など
妊産婦の健診・医療費助成等	①妊婦一般健診（14回）・産後1か月健診の健診料の全額及び交通費（1km当たり20円）を助成 ②医療費助成：通院530円/回、入院1,200円/日を超えた額を助成 ③妊婦歯科健診、1回無料
*不妊治療交通費助成	不妊治療の通院に係る交通費助成
子育て支援応援祝金	誕生時：2万円、小学校入学時：3万円 中学校入学時：3万円
チャイルドシート購入補助	購入価格の1/2を助成（上限15,000円）
*乳児紙おむつ費用助成	誕生翌月から1歳の誕生月まで5,000円/月を助成
指定ごみ袋の無料交付	満4歳未満の子どもがいる世帯に対し、ごみ袋（大）を交付（100枚/子ども1人）
新生児聴覚検査費用助成	検査費用助成（上限5,000円）
乳幼児健診等	1か月児健診・乳児健診・幼児健診・歯科健診・フッ素塗布・療育相談会・ことばの教室・感覚統合相談会・療育教室
保育園及び子育て支援	保育園3園（161名） 土曜（1日）保育 第1・3・5土曜日 乳児保育・一時保育・子育て支援センター
子どもインフルエンザ予防接種費用助成	対象：満18歳以下（12歳以下は2回目も） 個人負担1,100円を除いた額を助成
子ども医療費助成	18歳の年度末まで、通院・入院の全額を助成
病後児保育	概ね2歳から小学6年生まで、町営診療所みかわにおいて、一時的にお預かりする。
子育て講座	安心して楽しく子育てができるよう講座の開催
障がい児への支援	五泉及び駒林特別支援学校への通学バス運行 放課後等デイサービス（東蒲原福祉会）
学校給食費の負担減	小中学校給食費の負担額の減額

◇学校教育

子どもたち一人ひとりが健やかに成長し、阿賀町が大好きで自慢できる子どもを育む教育環境の整備を積極的に進めます。

事業名	概要
コミュニティスクール事業	保護者や地域住民と組織する学校運営協議会を設置し、地域と共にある学校づくりを推進します。
スクールバス管理	児童生徒の安全を確保するため、老朽化したスクールバスを計画的に更新します。 R2：3台 R3：2台 R4：1台
小・中学校情報教育推進事業	情報通信ネットワーク整備工事（R2） タブレット端末購入（R2） 電子黒板整備（R4） インターネットによる学習支援システム導入（R4）
小・中学校施設環境改善事業	学習机・椅子更新（R3・R4） 中学校空調設備整備工事（R3・R4） 小・中学校トイレ改修工事（R4）
学びの森交流館運営	教育留学制度を利用した町外からの阿賀黎明高等学校入学性の宿舎を運営し、留学生の不安解消と安心できる生活を支援
学校施設整備基金の設置	良好な教育環境の継続的な提供に必要となる施設維持整備費の財源を確保するため、学校施設整備基金を新たに設置

◇観光振興

阿賀町の観光は、豊かな自然や8つの温泉、米や山菜などの食べ物、日本酒、会津と越後の歴史など資源が豊富にあります。町全体で魅力づくりとおもてなしを高めるとともに、旬の情報により効果的に発信し、観光の活性化を図ることで町の元気を創出します。

事業名	概要
阿賀町ファンクラブ運営	交流人口・関係人口増加を目指し、ふるさと納税のリピーターや、教育体験旅行の卒業者など、阿賀町に関心があり、町の良さを知っている方々を対象に、四季折々の様子やイベント情報などを定期的に発信し、阿賀町ファンを発掘。令和2年度に設立し、会員数は1,600人を超えています。
探究の森交流館運営	新しい観光の姿として、温泉、交流を併せたワーキングスペースによる交流人口の拡大、移住定住を促進する。

◇新たな農林水産業の振興

農林水産業の活性化には、生産・加工・販売まで行う6次産業化を図るなど、農家や林家の収益につながる取り組みが重要です。担い手不足や有害鳥獣対策の強化を図りながら、農産物の付加価値化や地域特性を活かした複合経営、森林環境譲与税の効果的な活用など取り組みを進めます。

【農業関係主たる助成事業】

助成事業名	概要
エゴマ特産品化助成	阿賀町の事業者に対して原材料（種）として出荷販売される阿賀町産エゴマに対する助成 800 円/kg以内
自然薯特産品化助成	等級検査において「最上級判定（A品）」とされた阿賀町産自然薯に対する助成 500 円/kg以内
ソバ特産品化助成	等級検査において「1 等・2 等」とされ、且つ阿賀町の事業者に対して原材料（種）として出荷販売される阿賀町産ソバに対する助成 1 等級 500 円/kg以内 2 等級 300 円/kg以内
乾田化助成	軟弱田の改良などに必要な資材費及び作業経費助成 補助率 1/2 上限 50,000 円以内（100 円未満切捨）
土づくり助成	有機たい肥「東蒲ゆうきの子」を施肥するために必要な資材費及び作業経費助成（田・畑） 補助率 1/2 上限 50,000 円以内（100 円未満切捨）
野ネズミ駆除薬剤配布	原材料支給（農家組合若しくは行政区対象） 春・秋（農協より配布）
無人ヘリ防除	共同防除推進 薬剤費 400 円/10a

【有害鳥獣対策事業】

鳥獣被害対策補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ①サルネット購入補助 ②追い払い用火火購入補助 ③サル・イノシシ用電気柵購入補助 ④忌避剤・追い払い資機材等購入補助 ⑤ワイヤーメッシュ柵購入補助 （※①～⑤の補助率は事業費 1/2 とし、上限 10 万円） ⑥追い払い用エアソフトガン購入補助（行政区対象） （※⑥の補助率は購入費の 1/2 とし、上限 2 万円） ⑦ハクビシン忌避剤補助（※ 1/2 補助） ⑧ハクビシン捕獲箱ワナの貸出 ⑨不要果樹の伐採経費補助（行政区対象） （※ 1 本につき 1 万円の伐採費補助とし、上限 10 万円）
------------	---

◆地区別水稲被害状況（イノシシ被害）

<令和元年度>

	件数	面積(a)	被害額(円)
津川地内	5	364	993,822
鹿瀬地内	0	0	0
上川地内	0	0	0
三川地内	10	589	2,870,871
計	15	953	3,864,693

<令和2年度>

	件数	面積(a)	被害額(円)
津川地内	7	361	1,892,106
鹿瀬地内	4	307	1,588,632
上川地内	6	125	527,472
三川地内	10	595	2,968,362
計	27	1,388	6,976,572

<令和3年度>

	件数	面積(a)	被害額(円)
津川地内	5	77	332,196
鹿瀬地内	2	549	1,832,664
上川地内	4	123	414,276
三川地内	3	159	977,892
計	14	908	3,557,028

※NOSA Iの水稲共済該当農地（畦畔等の崩壊被害は対象外）

◆有害鳥獣捕獲実績

<サルの捕獲実績>

	実施隊員による捕獲	ICT大型オリによる捕獲	支援員による捕獲	計
令和元年度	28頭	-	103頭	131頭
令和2年度	131頭	3頭	81頭	215頭
令和3年度	70頭	70頭	96頭	236頭

<イノシシ捕獲頭数>

	実施隊員による捕獲
令和元年度	30頭
令和2年度	129頭
令和3年度	50頭

<クマ捕獲頭数>

	実施隊員による捕獲
令和元年度	18頭(6頭)
令和2年度	33頭(4頭)
令和3年度	3頭(3頭)

※()内予察駆除

これからも

皆様が安心して暮らせる

持続可能な町づくりに

全力で取り組んでまいります。